

令和6年度に「奈良県学校・地域パートナーシップ事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等の報告

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現在の数値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	自 己 5 段 階 の 評 価	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
②学校と地域の課題	青少年の健全育成	社会経験が乏しく、生活習慣や学習習慣に課題があり、規範意識や学力の低下にもつながっている。	「子どもの夢応援プロジェクト」を立ち上げ、地域人材や企業人材を活用し、児童・生徒が夢をもって自らの将来を拓く力を育てる取り組みを実施。また、放課後等の学習活動も積極的に行い、基礎学力の定着を図っている。	地域の方とのふれあい体験、あいさつと見守り活動、児童生徒のアイデアを活かした委員会活動等で規範意識の向上や規則正しい生活習慣の定着を目指すとともに、様々な体験活動を通して、児童・生徒の自尊感情を高める。	地域人材を効率的に活用し、様々な体験活動や交流活動の機会を増やし、自信をもって自らの夢を語ることのできる児童・生徒を育てていく。	全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標をもっていますか」という質問事項で、「もっている」「どちらかといえばもっている」と答えた小・中学生の割合	70	%	80	74	2	目標値の達成にまでは至っていないが、どの地域学校協働本部においても、登下校の見守り活動ボランティアさんに自ら進んで挨拶する児童・生徒が増えつつある。また、子ども自らが呼びかけ、児童会等が中心になり「あいさつ運動」に取り組む姿も生まれてきている。今後は、このような児童・生徒の発想を大切にしたい活動をさらに進めていきたい。
③学校と家庭の課題	読書習慣の定着・読書体験の充実	学校や家庭で進んで読書をする子どもが少ない。文章を的確に読み取る力や自分の考えを文章や言葉で相手にわかりやすく伝える力が弱い。	図書ボランティアの協力を得て、定期的に絵本の読み聞かせや、図書紹介などの機会を設定している。また、子どもたちが足を運びたいような魅力的な図書館の環境整備にも力を入れている。	学力の基礎となる読解力を高めるため、図書ボランティアや読み聞かせボランティアと連携し、読書習慣の定着を目指す。また保護者にも呼びかけ、家庭での「親子読書タイム」等を実施していく。	地域コーディネーターや活動支援員等と連携し、読み聞かせ活動や図書環境整備活動をさらに充実させ、本好きの児童・生徒を育てる。	全国学力・学習状況調査の「読書は好きですか」という質問事項で、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた小・中学生の割合	63	%	70			若干の取組の成果は見られるが、目標値達成には至っていない。市内全ての地域学校協働本部において、地域の方々の積極的な参加による、読み聞かせ活動や図書環境整備活動が盛んに行われ、年間図書貸出目標を達成した学校も出てきている。今後は、学校だけの取組のにとどまらず、保護者も巻き込んだ家庭での読書習慣の定着にも取組を進めていきたい。